



# ATH-M50xBT2

ワイヤレスヘッドホン




---

## 取扱説明書


Japanese

# 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

 <b>危険</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
 <b>警告</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 <b>注意</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## 本体について

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>本製品を医療機器の近くで使用しない</b> 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。</li><li>● <b>航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する</b> 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。</li><li>● <b>自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない</b> 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。</li><li>● <b>分解や改造はしない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>● <b>強い衝撃を与えない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>● <b>濡れた手で触れない</b> 感電やけがの原因になります。</li><li>● <b>異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない</b> 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。</li><li>● <b>水をかけない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>● <b>本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない</b> 感電、故障や火災の原因になります。</li><li>● <b>布などで覆わない</b> 過熱による火災やけがの原因になります。</li><li>● <b>自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない</b> 交通事故の原因となります。</li><li>● <b>周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しない</b> 事故の原因となります。</li><li>● <b>付属の充電用USBケーブル以外で充電しない</b> 故障や火災の原因になります。</li><li>● <b>ACアダプターを使用して充電する際、急速充電機能（5Vより大きな電圧を出力する）を有する機器で充電しない</b> 故障の原因になります。</li></ul>
---	--

## 安全上の注意

### ⚠ 注意

- **大音量で耳を刺激しない**  
耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- **肌に異常を感じた場合は、使用しない**  
すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。
- **ハウジングとアームの間やジョイント部に、指などを挟まない**  
けがや事故の原因になります。

## 充電式電池について

本製品は、充電式電池（リチウムポリマー電池）を内蔵しています。

### ⚠ 危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**  
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**  
液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。  
万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。  
皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない**  
発熱、破損、発火の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **水に濡らさない**  
発熱、破裂、発火の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**  
直射日光の当たる場所、高温多湿の場所  
炎天下の車内  
ストーブなどの熱源の近く  
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

### 内蔵充電式電池について

本製品を十分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。

#### サービスセンター

 0120-887-416（携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212）

### 本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

#### 送り先

〒915-0003

福井県越前市戸谷町 87-1

株式会社オーディオテクニカフクイ 二次電池回収担当 宛

TEL : 0778-25-6736 (電池回収専用)



Li-ion

# 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、本製品をそのままバッグなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品から充電用USBケーブルを取り外してください。
- 充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっているなど破損している場合は充電を行わないでください。発熱・発煙・発火などの故障や感電の原因となります。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外（アプリなど利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- バッテリージャックや充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電を行わないでください。バッテリージャックや充電用USBケーブルが腐食・発熱・発煙・発火などの故障や感電の原因となります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品が汗などで濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電してください。

# Bluetooth製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2.万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。

3.その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。
- 本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

2.4FH1

## ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

## 使用上の注意

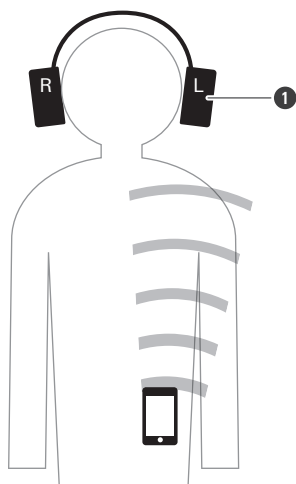
本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

## 通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。

# Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために

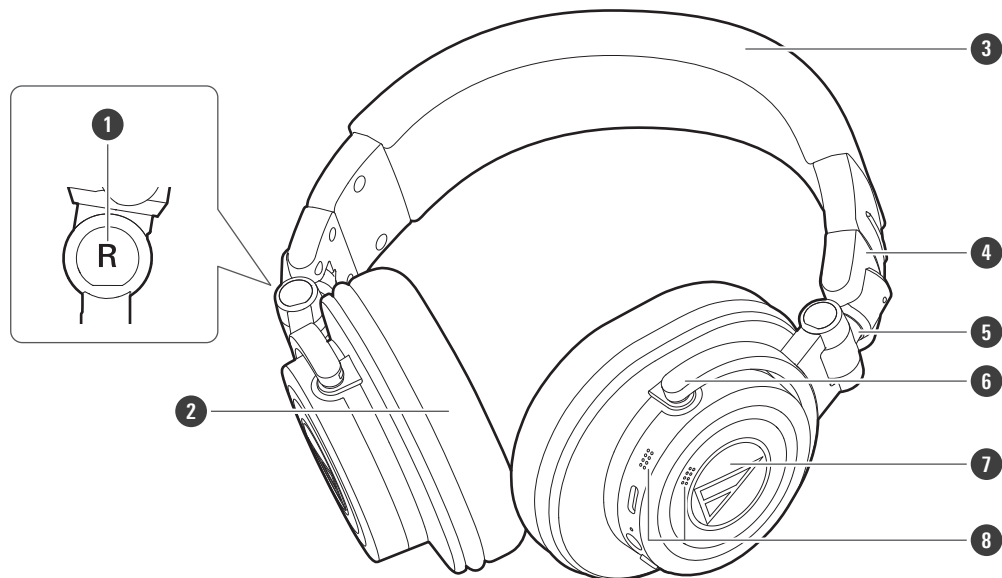
本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth機器をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部（L側）とBluetooth機器の間に人体やそのほか障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。



① アンテナ部

# 各部の名称と機能

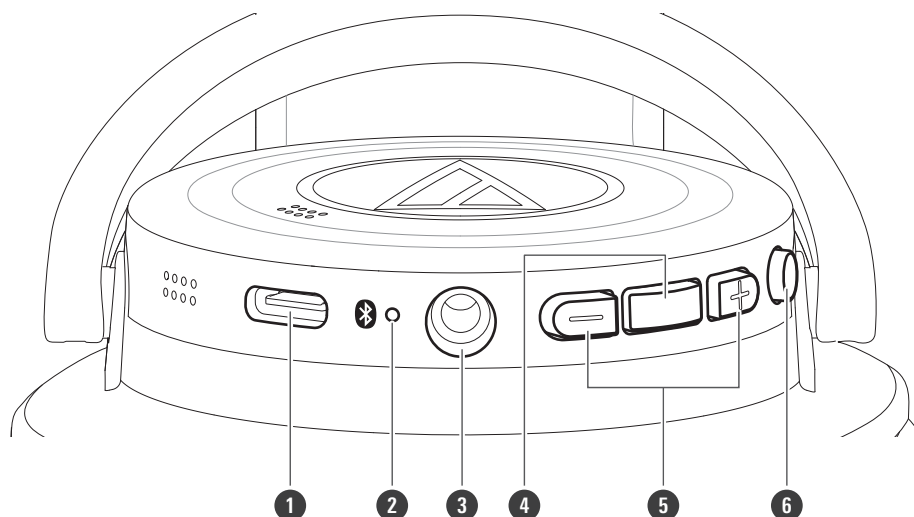
## ヘッドホン



- ① L/R (左/右) 表示位置
- ② イヤパッド
- ③ ヘッドバンド
- ④ スライダー
- ⑤ ジョイント部
- ⑥ アーム
- ⑦ハウジング
- ⑧ マイクロホン



### 操作部



**① バッテリージャック**

付属の充電用USBケーブルを接続して充電します。

**② インジケータ**

本製品の電池残量や動作状況を表示します。

**③ コネクタージャック**

付属のコードを接続して、有線接続で使用します。

**④ 電源/コントロールボタン**

電源のON/OFFや、音楽の再生/一時停止、電話の応答に使用します。

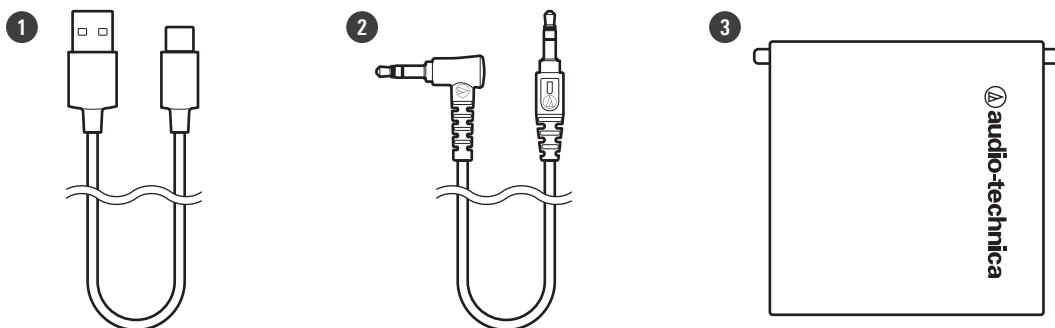
**⑤ ボリュームボタン**

音量 (+/-) を調整します。

**⑥ 音声アシスタントボタン**

接続機器によっては、音声認識機能 (iOS機器に搭載しているSiriなど) が起動します。  
また、通話中にマイクロホンのミュートON/OFFを切り替えます。

## 付属品



- ① 充電用USBケーブル (30cm、USB Type-A/USB Type-C™)
- ② コード (1.2m/φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ/L型)
- ③ ポーチ

# 充電のしかた

初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。

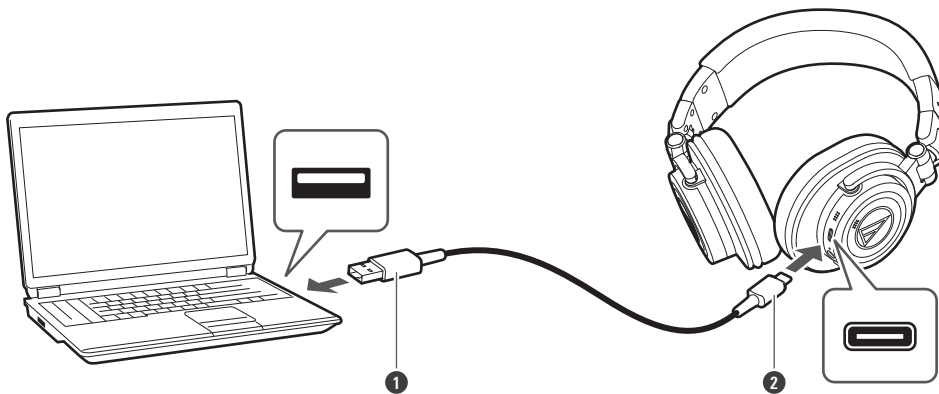
充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品から残量低下を知らせる音声ガイダンス「Low Battery」が流れ、インジケータが赤く点滅します。早めに充電してください。

満充電までに必要な充電時間は約3.5時間です。（使用条件により異なります）

本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。

## 1 付属の充電用USBケーブル（USB Type-C側）を本製品のバッテリージャックに接続します。

- 付属の充電用USBケーブルは本製品専用です。ほかの充電用USBケーブルは使用しないでください。
- USBポートやバッテリージャックに充電用USBケーブルを差し込む際は、まっすぐ（水平に）差し込んでください。



- ① USB Type-A
- ② USB Type-C

## 2 付属の充電用USBケーブル(USB Type-A側)をパソコンに接続して、充電を開始します。

- 充電時は、インジケータが次のように点灯します（インジケータの表示に数秒かかる場合があります）。

インジケータ	動作状態
赤色点灯	充電中
消灯	充電完了
赤色点滅	充電エラー[1]

[1] ヘッドホンが熱を持っている可能性があります。温度が充分に下がったことを確認してから、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電をし直してください。

## 3 充電完了後、充電用USBケーブル（USB Type-A側）をパソコンから取り外します。

## 4 充電用USBケーブル（USB Type-C側）を本製品のバッテリージャックから取り外します。



- 本製品の電源をONにした状態で充電を行うと、自動的に電源がOFFになります。

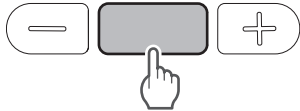


- 充電時は必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。付属の充電用USBケーブル以外では充電できない場合があります。

# 電源ON/OFF

## 電源をONする

- 1 電源/コントロールボタンを長押し（約2秒）します。



≫ インジケーターが白色に点灯したあと、点滅します。音声ガイダンスが流れます。



- インジケーターの表示に数秒かかる場合があります。
- 音声ガイダンスの種類については「音声ガイダンスについて」(p.22)をご確認ください。

## 電源をOFFする

- 1 電源/コントロールボタンを長押し（約2秒）します。



≫ インジケーターが白色に点灯したあと、消灯します。

# Bluetooth接続のしかた

本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリング（登録）する必要があります。

## ペアリングのしかた

- Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
- 音声ガイダンスを聴きながらペアリングを行う場合は、本製品を装着してください。

### 1 本製品の電源が切れている状態から電源をONにします。

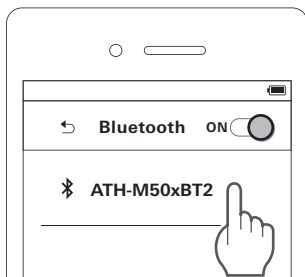
- インジケーターが白色に点灯したあと、白色点滅を始めます。

### 2 接続するBluetooth機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。本製品を検索するとBluetooth機器に「ATH-M50xBT2」と表示されます。

- Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。

### 3 「ATH-M50xBT2」を選択し、接続するBluetooth機器に登録します。

- 機器によっては、パスキーを要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。



≫ 音声ガイダンス「Bluetooth connected」が流れ、インジケーターがゆっくりと白色点滅します。ペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。

## Fast Pairでペアリングする



本製品はAndroid™デバイスとワンタッチで素早く簡単にペアリング設定できます。最後に置いた場所の確認もできます。

## Bluetooth接続のしかた

**1** Googleアカウント設定済みのAndroidデバイスでBluetooth機能をONにします。

**2** 本製品の電源をONにして、Androidデバイスに近づけます。

- Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。

**3** Androidデバイスに通知が表示されるので、タッチします。

≫ 音声ガイダンス「Bluetooth connected」が流れ、インジケーターがゆっくりと白色点滅します。ペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。

## ペアリングについて

新たなBluetooth機器を接続する際はペアリングが必要ですが、一度ペアリングしたBluetooth機器とは、再度ペアリングする必要はありません。本製品は履歴を保存できるマルチペアリングに対応しています。ただし、次の場合は、一度ペアリングしたBluetooth機器であっても再度ペアリングが必要です。

- Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- 本製品を修理に出した場合
- 本製品をリセットした場合

## マルチポイントについて

本製品は、2台のBluetooth機器を同時に接続できるマルチポイントに対応しています。1台目で音楽を聴いている最中に、2台目にかかってきた電話の着信をそのまま受けて通話することができます。スマートフォンなどの2台持ちに便利です。

- すべてのBluetooth機器での組み合わせ、動作を保証するものではありません。

### マルチポイント接続のしかた

**1** 1台目のBluetooth機器とペアリングを行います。

**2** 1台目のペアリングが完了したあと、Bluetooth機器のBluetooth機能をOFFにします。

**3** 2台目のBluetooth機器とペアリングを行います。

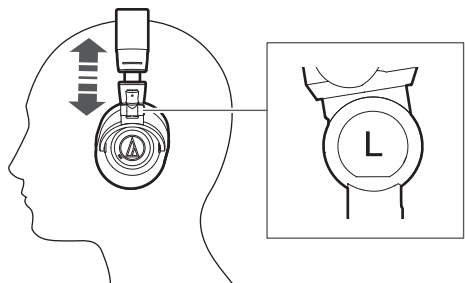
**4** 1台目のBluetooth機器のBluetooth機能をONにします。



- 接続できない場合は、本製品の電源を入れ直してください。
- マルチポイントで同時接続できるBluetooth機器は2台までです。3台目のBluetooth機器を接続する場合は、接続している2台のうち、どちらか1台との接続を解除してください。

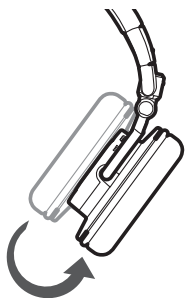
# 装着のしかた

本製品の“L（左）”の表示側を左耳に、“R（右）”の表示側を右耳に装着し、イヤパッドが耳を覆うようにスライダを上下にスライドさせ、ヘッドバンドを調整します。



## ハウジングの反転

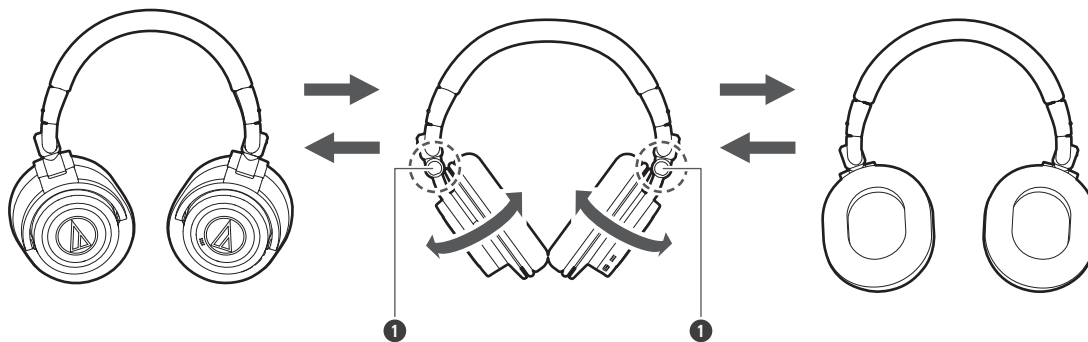
アームを支点に装着時から約180度ハウジングを反転させることができます。約180度以上は回転しないので、無理な力を加えないでください。



## スィーベル機構

ハウジングをフラットに折りたためます。

- スィーベル機構は90度以上回転できません。無理な力を加えないでください。

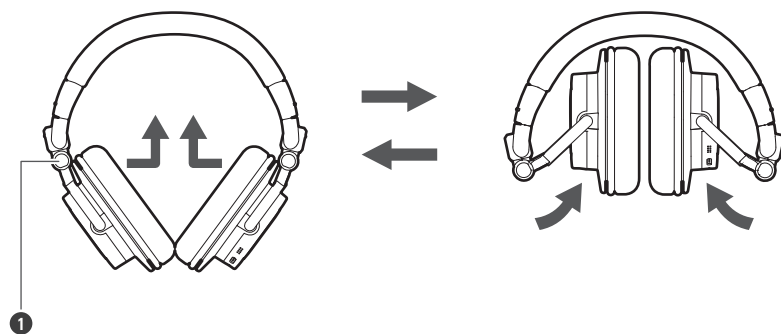


① ジョイント部

### コンパクトに折りたたみ

ジョイント部を支点にハウジングをヘッドバンドの内側へ折りたたむことができます。

- ジョイント部に指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品をご使用の際は、必ずハウジングを元の位置に戻してご使用ください。



① ジョイント部



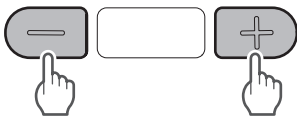
# 使いかた

本製品は、Bluetooth接続を行い音楽再生や着信を受けることができます。用途に合わせてご使用ください。また、Bluetooth機器による電池残量などの表示やアプリケーションの動作などは保証できませんので、あらかじめご了承ください。

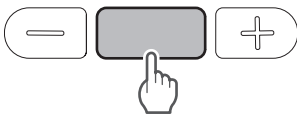
## 音楽を聴く

初めて接続をする場合は、本製品と接続する機器をBluetoothでペアリングを行ってください。一度ペアリングを行った場合は、Bluetooth機器のBluetooth接続をONにしてから、本製品の電源をONにしてください。接続したBluetooth機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してください。

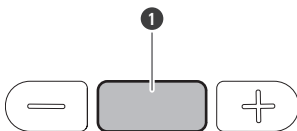
- 1 本製品の電源をONにして、耳に装着します。
- 2 Bluetooth機器で音楽を再生します。
- 3 ボリュームボタン（+/-）を押して、音量を調整します。



- 4 音楽を終了するときには、電源/コントロールボタンを押します。
  - 押すたびに再生/停止します。



### 電源/コントロールボタンの操作

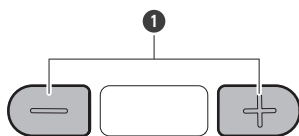


- 1 電源/コントロールボタン

操作	動作
短押し	音楽が再生、一時停止します。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

## ボリュームボタンの操作



### ① ボリュームボタン

操作	動作
短押し	音量が1段階大きく／小さくなります。[1][2]
長押し（約2秒）	次の曲に送ります。 前の曲／曲の先頭に戻ります。

[1] 音量が最大／最小になると音が鳴ります。

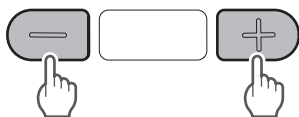
[2] 本製品とBluetooth機器の音量調整がうまく連動しない場合があります。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

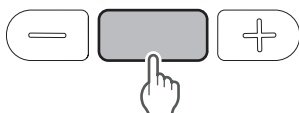
## 通話する

Bluetooth機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話ができます。

- 1 本製品の電源をONにして、耳に装着します。
- 2 Bluetooth機器で電話を発信／着信します。
  - Bluetooth機器が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。
  - 音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。
- 3 ボリュームボタン（+/-）を押して、音量を調整します。



- 4 通話を終了するときは、電源／コントロールボタンを押します。
  - 音楽再生中に着信があった場合は、通話が終了すると、音楽再生が再開します。
  - Bluetooth機器によっては音楽再生が再開しない場合があります。その場合は手動で再開してください。



## 使いかた

### マイクホンのミュートON/OFFを切り替える

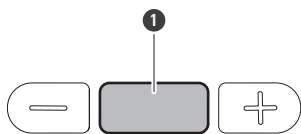
通話中にマイクホンのミュートON/OFFを切り替えることができます。

- ミュート操作はヘッドホン側でのミュートを行うのみで、Bluetooth機器側のミュート機能とは連動しません。

#### 1 通話中に音声アシスタントボタンを押します。

≫ 押すたびにミュートON/OFFが切り替わります。

### 電源/コントロールボタンの操作

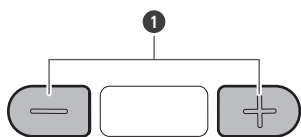


#### 1 電源/コントロールボタン

操作	動作
短押し	着信時：電話を受けます。 発信時：発信を中止します。 通話時：通話を終了します。
長押し（約2秒）	着信時：着信を拒否します。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

### ボリュームボタンの操作



#### 1 ボリュームボタン

操作	動作
短押し	通話音量が1段階大きく/小さくなります。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

## 音声認識機能

接続機器によっては、音声認識機能（GoogleアシスタントやSiriなど）を起動できます。

## 使いかた

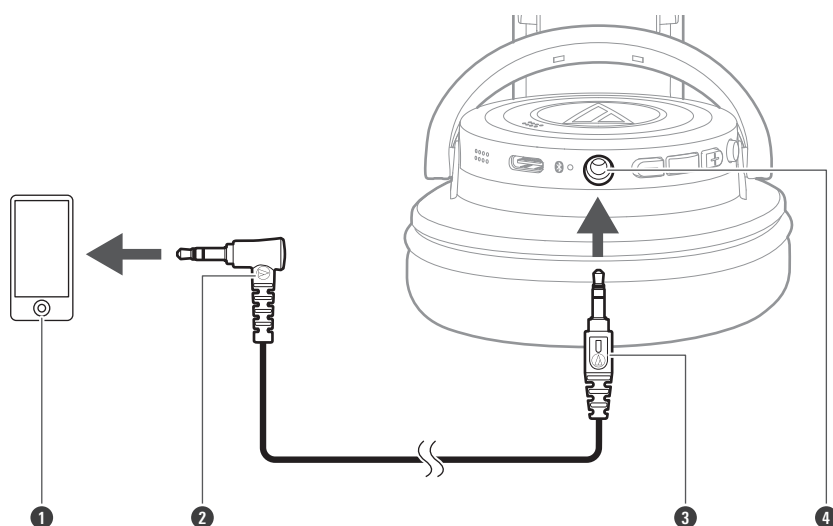
### 1 音声アシスタントボタンを押します。

≫ 音声認識機能（GoogleアシスタントやSiriなど）が起動します。

## 有線接続（スルー機能）

本製品は、充電がなくなった場合でも、ポータブルヘッドホンとして音楽を再生できるスルー機能を搭載しています。付属のコードのコネクタプラグを本製品のコネクタジャックに接続し、入力プラグをポータブルプレーヤーなどと接続して使用することができます。

- 有線接続時は、本体のボタンの操作はできません。
- コードにはマイクロホンが搭載していませんので、有線接続時は通話することができません。



- ① スマートフォン、ポータブルプレーヤーなど
- ② インプットプラグ
- ③ コネクタプラグ
- ④ コネクタジャック

## オートパワーオフ機能

本製品は、電源がONの状態でも、5分間機器と接続しない状態が続くと自動的に電源がOFFになります。

## スマートフォン用アプリ

本製品は当社専用アプリ「Connect」に対応しています。アプリをご利用いただくと、さまざまな機能を便利にお使いいただけます。本製品のファームウェア更新などもアプリから行うことができますので、ぜひご利用ください。

<https://app.at-globalsupport.com>

# 使いかた



## CONNECT App

iOS, Android

### アプリでできること

アプリを使用すると次の機能を使用することができます。詳しくはアプリ画面でご確認ください。

機能	説明
コーデック	接続コーデックの変更ができます。
低遅延モード	ゲームや動画視聴をする際に、音の遅延の少ない再生ができます。
イコライザー	イコライザーの調整ができます。
左右バランス調整	左右の音量バランス調整ができます。
音声アシスタント	音声アシスタントボタンで何を起動するか設定ができます。
サイドトーン	通話中にマイクロホンを通して自分の話し声や周囲の音を取り込むサイドトーン機能のON/OFFを設定できます（お買い上げ時、本機能はONになっています）。
ガイド音	本製品から流れる音声ガイダンスを確認音に変更できます。

# インジケータ表示について

本製品のインジケータの点滅・点灯表示は、動作状態を意味しています。

## ペアリング

動作状態	インジケータ表示パターン
機器検索中	○-○-○・・・ 白色点滅（じんわりと光る）

## 接続

動作状態	インジケータ表示パターン
接続待ち	○-----○-----○・・・ 8秒間隔で白色点滅
接続中	○----○----○・・・ 4秒間隔で白色点滅

## 電池残量

動作状態	インジケータ表示パターン
電池残量が少ない	ペアリング・接続状態の白色表示が赤色表示に変わります。

## 充電

動作状態	インジケータ表示パターン
充電中	● 赤色点灯
満充電	● 消灯
充電エラー	●-●-●・・・ 赤色点滅

# 音声ガイドについて

本製品は次の状況で英語の音声ガイドが流れます。

状況	音声ガイド
電源ON	電池残量によって音声ガイドが異なります。 Battery level high Battery level medium Battery level low
Bluetooth接続	Bluetooth connected
Bluetooth接続切断	Bluetooth disconnected
音楽再生	Play
音楽一時停止	Pause
電池残量が少ない	Low battery
電池切れによる電源OFF	Please recharge

# お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 本体は乾いた布で汚れを拭いてください。
- イヤパッド、ヘッドバンドの汚れは乾いた布で拭いてください。イヤパッド、ヘッドバンドに汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。
- ボタン等の操作部に汗などの水分が付着した場合は、すぐに拭いてください。腐食による故障の原因になります。
- ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用后すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- ケーブルのUSB端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
- コードのプラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。



- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
- イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。イヤパッドの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。



# 強制ペアリングモード／リセット

## 本製品の接続がうまくいかない場合（強制ペアリングモード）

ペアリングが解除できない、接続できない場合、強制的にペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。

- 1 本製品の電源がONの状態、ボリュームボタン（+/-）を同時に長押し（約3秒）します。

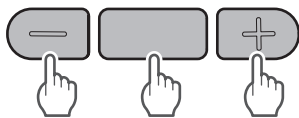


≫ 本製品が「機器検索中」状態（ペアリングモード）に切り替わり、接続したいBluetooth機器とのペアリングを行うことができるようになります。

## 本製品の動作がおかしい場合（リセット）

本製品をリセットしてください。

- 1 本製品の電源がONの状態かつBluetooth機器と接続していない状態で、電源／コントロールボタンとボリュームボタン（+/-）の3つのボタンを同時に長押し（約6秒）します。



≫ インジケーターが赤色に点灯したあと本製品が再起動し、リセットが完了します。

- 2 Bluetooth機器側から本製品の登録を削除します。
- 3 再度本製品のペアリングを行います。

# 故障かな？と思ったら

## ① 電源が入らない

- 本製品を充電してください。

## ② ペアリングができない

- 当社ホームページで、Bluetooth対応携帯電話の適合機種をご確認ください。
- Bluetooth機器の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。
- 本製品とBluetooth機器の距離を1m以内に近づけてください。
- Bluetooth機器のプロファイルを設定してください。設定方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をお読みください。
- Bluetooth機器の本製品とのペアリング情報を削除してから、再度本製品とペアリングしてください。
- 前回接続していた別のBluetooth機器と接続していないかをご確認ください。その場合は、前回接続していたBluetooth機器を操作して接続を解除してから今回接続したいBluetooth機器側で本製品を選択して接続してください。前回接続していたBluetooth機器と接続が解除できない場合は、強制ペアリングモードを行ってください。詳しくは「本製品の接続がうまくいかない場合（強制ペアリングモード）」(p.24)をご確認ください。
- すべての対処法をお試しただいてもペアリングが解除できない、接続できない場合など、本製品の動作がおかしい場合はリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合（リセット）」(p.24)をご確認ください。

## ③ 音が出ない／音が小さい

- 本製品とBluetooth機器の電源をONにしてください。
- 本製品とBluetooth機器の音量を大きくしてください。
- 本製品とBluetooth機器が、A2DP（またはオーディオ接続）で接続されているか確認してください。
- 本製品とBluetooth機器のペアリングを解除したあとに再度ペアリングしてください。
- 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。
- Bluetooth機器の音声出力先を本製品に切り替えてください。

## ④ 音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる

- 本製品とBluetooth機器の音量を小さくしてください。
- 本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。
- 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。
- Bluetooth機器のイコライザー設定をOFFにしてください。

## 故障かな？と思ったら

- 本製品とBluetooth機器の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。詳しくは「Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために」(p.6)をご確認ください。

### ① 相手の声が聞こえない／相手の声が小さい

- 本製品とBluetooth機器の電源をONにしてください。
- 本製品とBluetooth機器の音量を大きくしてください。
- 本製品とBluetooth機器が、HFP/HSP（または通話接続）で接続されているか確認してください。
- 本製品とBluetooth機器のペアリングを解除したあとに再度ペアリングしてください。
- Bluetooth機器の音声出力先を本製品に切り替えてください。

### ② 本製品の充電ができない

- 付属の充電用USBケーブルを確実に接続して充電してください。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。



- Bluetooth機器の操作に関しては、機器により操作が異なるため、お持ちのBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

# テクニカルデータ

## ヘッドホン部

型式	密閉ダイナミック型
ドライバー	φ45mm
出力音圧レベル	99dB/mW
再生周波数帯域	15~28,000Hz
インピーダンス	38Ω

## マイクロホン部

型式	MEMS型
指向性	全指向性
感度	-38dB(1V/Pa、at 1kHz)
周波数帯域	85~15,000Hz

## 通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.5.0準拠
最大RF出力	5.1mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)
変調方式	GFSK、Pi/4DQPSK、8DPSK
スペクトラム拡散方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	LDAC、AAC、SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域	20~40,000Hz (LDAC 96kHzサンプリング、990kbps時) 20~20,000Hz (44.1kHzサンプリング時)

## その他

電源	DC3.7Vリチウムポリマー電池 (内蔵式)
充電時間	約3.5時間 <sup>[1]</sup>
使用可能時間	連続通信 (音楽再生時) : 最大約50時間 <sup>[1]</sup>
質量	約307g
使用温度範囲	5°C~40°C
付属品	充電用USBケーブル (30cm、USB Type-A / USB Type-C)、コード (1.2m / φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ/L型)、ポーチ
交換品 (別売)	イヤパッド HP-M50x、コード

## テクニカルデータ

[1] 使用条件により異なります。

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

# 商標について

- **Bluetooth**<sup>®</sup> ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社オーディオテクニカは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- USB Type-C<sup>™</sup> はUSB Implementers Forumの商標です。
- Siriは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Google、Android は Google LLC の商標です。

**株式会社オーディオテクニカ**

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1  
[www.audio-technica.co.jp](http://www.audio-technica.co.jp)

**Audio-Technica Corporation**

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan  
[www.audio-technica.com](http://www.audio-technica.com)  
©2021 Audio-Technica Corporation  
Global Support Contact: [www.at-globalsupport.com](http://www.at-globalsupport.com)

132417580-01-02 ver.1 2021.08.15  
ver.2 2021.09.15